

1 確かな学力の育成

①楽しく、わかり、のばす授業の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び」（以下「アクティブ・ラーニング」）による授業改善の推進
- ・平成28、29年度文科省委託事業「教科等の本質的な学びを踏まえたアクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善のための実践研究」による「戸田市版 アクティブ・ラーニング ルーブリック」の開発
- ・「産官学民の知のリソース」を活用した取組の積極的な推進
- ・CoREF（東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構）と連携した「協調学習」の推進
- ・新しい学びの成果発表の場としての「戸田市プレゼンテーション大会」の実施
- ・ICTの効果的な利活用やICTレッスンアドバイザー等の授業支援スタッフの設置による指導の充実
- ・【新規】「リーディング・スキル」（国立情報学研究所と連携）を育成する指導法の検討
- ・各種学力・学習状況調査等の分析を踏まえたエビデンスに基づく授業及び教員研修の改善（慶應大学、国立教育政策研究所等と連携）

②学習意欲の向上と学習習慣の確立

- ・【新規】「非認知能力（やり抜く力、自制心、協調性等）」を育むための「非認知能力育成プログラム」の実施
- ・【新規】「戸田市版小中一貫 家庭学習の手引き」の作成及び家庭学習を支援する「ICT学習システム」の活用
- ・「とだっ子5つの見直し」及び「家庭教育宣言」の取組の推進（巻末に掲載）
- ・【新規】家庭学習の習慣化を図るタブレット等の活用の試行実施（リクルート、凸版印刷、ジャストシステム等との連携）

③学習機会の確保と学習支援

- ・民間の学習塾と連携した放課後や夏季休業中の学習支援（栄光ゼミナール、学研教育みらい等との連携）
- ・アクティブ・ティーチャー及びジャンプアップ・ティーチャーによる「長期休業中や放課後の補習授業」の実施

2 豊かな心の育成

①道徳的実践力や規範意識・社会性の育成

- ・全教職員による一貫性のある道徳教育、アクティブ・ラーニング型の「考え、議論する」道徳授業の推進
- ・小・中学生キャリア教育の充実（小学生の職業疑似体験、市内事業所での中学生社会体験事業等）

②生徒指導と相談、支援体制の充実

- ・【新規】全中学校に加えて全小学校にもスクールカウンセラーを配置。教育センターに教育相談指導員、教育心理専門員、スクールソーシャルワーカー（1名増により3名体制）を配置した教育相談体制の充実
- ・【新規】「ステップ教室（適応指導教室）」における「ソーシャル・メディアを活用した学習支援」の試行実施
- ・【新規】「市いじめ防止基本方針」の改訂及び「いじめ対応プログラム」の実施（青山学院大学と連携）
- ・「ゲートキーパー研修会」の実施（福祉保健センターと共催）
- ・全中学校に「さわやか相談室」を整備（さわやか相談員、ボランティア相談員、中学校スクールカウンセラーを配置）
- ・全中学校「すこやかサポーター（生徒指導充実のための非常勤講師）」を配置

③情操を豊かにする教育の充実

- ・【新規】「ソーシャル・メディアを活用した作品展覧会」の試行実施
- ・「彩湖自然学習センター」を活用した自然体験授業や「みどりの学校ファーム」を通じた生産活動体験の実施
- ・「小学生音楽鑑賞会」、「小・中学校音楽会」の実施及び「市内児童生徒作品展覧会」の開催
- ・「交流活動（自分や他者をいたわる気持ちの涵養等）」の推進
 - ・特別支援学級等と通常学級とが交流する「インクルーシブ教育」の充実

3 健やかな体の育成

①健康教育、食育、学校安全の推進

- ・「薬物乱用防止教室」や「ネットトラブル等の防止教室」の対応研修会の実施
- ・関係機関と連携した「交通安全教室、避難訓練、防犯教室、CAPプログラム等の体験的訓練」の実施
- ・各学校における栄養教諭、学校栄養職員等の「専門性を活かした食育授業」の推進
- ・学校、地域、PTAと連携した「子どもの安全を守るための活動」の推進

②健康づくり・体力向上の推進

- ・【新規】適正な部活動の在り方の検討（部活動指導員等の活用、休養日の設定、生徒・保護者への啓発等）
- ・大学の体育会で活躍している学生が指導する「スポーツふれあい体験事業」の実施（青山学院大学との連携）
- ・「体力向上チャレンジ事業」の実施（とびばこ、マット教室）
- ・「プロ野球チーム西武ライオンズ」、「女子プロ野球チーム埼玉アストライア」による体育指導

4 国際社会で活躍できる人材の育成

①能動的に課題を見付け対応する力の育成

- ・全小・中学校ALT常駐配置による小学校低学年からの英語教育の推進